

か み か わ 民 報

●第43号議案

神川町こども医療費支給に関する条例及び神川町ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

反対討論 要旨 川浦雅子

当初、3月開始予定とされていた、マイナンバーカードの健康保険証利用は、トラブルが相次ぎ、本格開始が10月に延期されました。医療、社会保障削減にもつながるマイナンバーカードの保険証利用は中止すべきと考え、この案に反対します。

国民には我慢、命より五輪の菅政権を倒し、新たな政治に

小池晃書記局長が表明

「市民と野党の共闘で政権交代を実現し、コロナ感染を封じ込め、国民の暮らしを立て直し、憲法を生かす新しいまともな政治をつくっていきたい」

2021年7月発行
No.26
日本共産党神川支部
連絡先
0495(77)2248
川浦 雅子

生活相談

お気軽に
ご相談ください



日本国憲法の5つの原則

- ①国民主権と国家主権
- ②恒久平和主義
- ③基本的人権
- ④議会制民主主義
- ⑤地方自治

※日本共産党の見解を紹介します



Pick up!

75歳以上の高齢者医療費窓口2倍化法に反対！

現役世代の負担が増えたのは政府が国庫負担を減らしてきたからです。国庫負担をもとに戻すべきです。

【老人医療費に占める国庫負担割合】

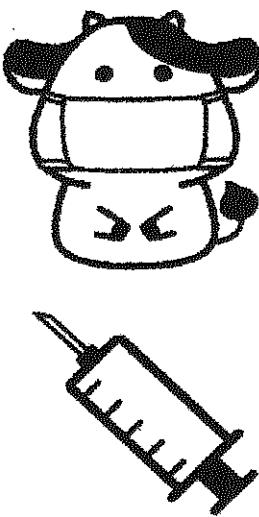
1983年	(当時の老人保健制度)	45%
2008年	(現在の後期高齢者制度)	36%
2020年	(現在の後期高齢者制度)	33%



● PCR検査について

【川浦】埼玉県も上田前県政では成しえなかつた予算が多くあり、職員については県の職員は119人増え、医師も45人増えました。県政もかわりつあります。また、コロナ禍に於いて、全国の非正規労働者の実態があぶりだされました。

● 行政サービスについて



【川浦】新型コロナウイルス感染拡大の第4派は全国に広がり、これは政府がやるべきことをやつてこなかつたところに原因があります。政府にはこの1年4か月を振り返り、コロナ対応への失敗を認め、これに学んでほしいと思います。

感染が強い変異株の拡大によって、自治体の役割がいよいよ重要になります。人の行動コントロールは難しいという認識を持ち、無症状感染者の発見・保護のため、美里町や秩父市のようなPCR検査体制、また希望する人が低額で受けられる体制を作つて頂きたい。住民の我慢等の自主的努行つていただきたい。

【町長】安心を得られるためにPCR検査希望者が無償でできる形をとって、そのうちの10人が陽性と検査行つた高齢者施設等におけるPCR検査では3万3,600人からが受けられましたと、町民1万3,000人が全員やつたとして1人、2人、3人多く検査結果も出ています。これがらいと、そのぐらいの陽性者といふうな割合です。町では財源的にも非常に厳しいものがあります。例えば熱が少し出たということで医者に行つて、医者

がやるべきことをやつてこなかつたところに原因があります。政府にはこの1年4か月を振り返り、コロナ対応への失敗を認め、これに学んでほしいと思います。

感染が強い変異株の拡大によって、自治体の役割がいよいよ重要になります。人の行動コントロールは難しいという認識を持ち、無症状感染者の発見・保護のため、美里町や秩父市のようなPCR検査体制、また希望する人が低額で受けられる体制を作つて頂きたい。住民の我慢等の自主的努行つていただきたい。

【町長】安心を得られるためにPCR検査希望者が無償でできる形をとって、そのうちの10人が陽性と検査行つた高齢者施設等におけるPCR検査では3万3,600人からが受けられましたと、町民1万3,000人が全員やつたとして1人、2人、3人多く検査結果も出ています。これがらいと、そのぐらいの陽性者といふうな割合です。町では財源的にも非常に厳しいものがあります。例えば熱が少し出たところで医者に行つて、医者

多くの非正規労働者が企業の労働力の調整弁となり、解雇され、生活困窮に陥っています。正規雇用を拒み、安

く、国が進めてきた自治体「構造改革」に誤りがコロナ禍で明らかになります。全国の自治体でも非正規率が高

い対応にはマンパワーが必要です。真っ先に公助です。個人の努力には限界があります。まず公助です。そのために正規職員増員に取り組んでいた

【川浦】コロナ禍における女性への支援を求める動きが全世界に広がっています。日本でも多くの自治体が支援を始めています。経済的影響により、生理用品の購入が困難な女性へ、生理用品を無料で配布する、また、この事をきっかけとして悩みを抱えている子どもたちや、女性からの相談体制の強化を図るもので、5月28日は世界月経衛生デーで、2013年に始まりました。途上国では、生理についての教育の不足があります。月経についての教育の不足分さや、衛生用品が買えない「生理の貧困」の問題は社会全体の課題です。

【町長】現時点では定員管理をしており、中での正職員数で収まっています。が、新たな仕事も増えており、職員には苦労を頂いています。正職員の足りないところは再任用職員、会計年度任用職員を配置して、対応しています。少子高齢化の中で、働き手が少ない中で町の職員だけが増加をするといふのは、住民の方々にとつても理解が得られないと思いますので、現状の定員の中でも十分にやりくりをしていきたく思います。保育士、保育園の正規職員があまりにも少なかったことから、現段階では増員を徐々に進めています。資格を持っている職員と一緒に、行政サービスの低下にならない様配慮をします。ワクチン接種後の体調不良には特別休暇の扱いが可能です。また、接種はあくまでも任意であり接種を受けないいない職員が不当な扱いを受けないよう努めます。

【川浦】埼玉県も上田前県政では成しえなかつた予算が多くあり、職員については県の職員は119人増え、医師も45人増えました。県政もかわりつあります。また、コロナ禍に於いて、全国の非正規労働者の実態があぶりだされました。

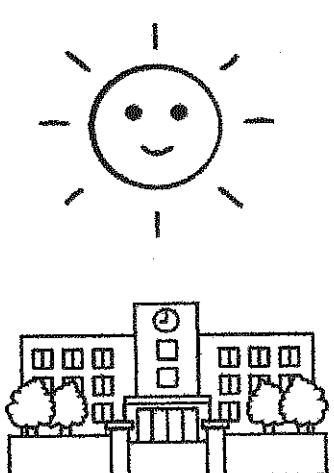
● 生理の貧困について

● 生理の貧困について

【川浦】町では家庭の状況の相談時に生理用品について困っています。なんか等の状況把握をして、配布をどう形にしたかと思います。貧困の世帯で例えれば一斉にそれを配付するといふことではなく、生理用品にも困っている、場合によつては、それよりも食糧に困っている、それ以外の何か

● ひとこと

体調に気をつけて下さい



【教育長】保健室において子供たちに無償配付を町内小中学校ともに行っています。トイレに置いておいて誰でもそれを触れる状態、それは衛生上よくないのでと思つて、いま必要かもしれません。それについては、配慮が、自分の生理とかからだの大切さが、自分の生理とからだの大切さをよく理解してきつと変えていく必要があります。月経についての教育の不足分さや、衛生用品が買えない「生理の貧困」の問題は社会全体の課題です。神川町でも、健康面、衛生面からも女性支援として、生理用品の配布に取り組んで頂きたい。また、学校でも、家庭の事情等で生理用品が入手困難な児童、生徒のために、備品として、学校のトイレに、生理用品を設置して頂きました。

【川浦】公立中学校元養護教諭金子由美子さんの話「生理用品が入手できない生徒は40年前からいました。数時間ごとに取り換えることを教えてもらわざ、同じナプキンを何日も使っていました」と、しんぶん赤旗5月4日付日本刊紙に紹介されています。コロナ禍で経済的、精神的に不安の中にある家庭では、保護者が子供の変化に気付けない場合や、また、虐待やネグレクトの状況もあります。町の社会福祉協議会や保健師とまた、学校と連携をしていただきたい。

【教育長】保健室において子供たちに無償配付を町内小中学校ともに行っています。トイレに置いておいて誰でもそれを触れる状態、それは衛生上よくないのでと思つて、いま必要かもしれません。それについては、配慮が、自分の生理とかからだの大切さが、自分の生理とからだの大切さをよく理解してきつと変えていく必要があります。月経についての教育の不足分さや、衛生用品が買えない「生理の貧困」の問題は社会全体の課題です。神川町でも、健康面、衛生面からも女性支援として、生理用品の配布に取り組んで頂きたい。また、学校でも、家庭の事情等で生理用品が入手困難な児童、生徒のために、備品として、学校のトイレに、生理用品を設置して頂きました。